

## 今年度の指導の重点に関わる状況について

今年度、県南教育事務所では、「人材育成」「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「共に学び、共に育つ教育（特別支援教育）」を重点として事業に取り組んでまいりました。今号では、この5つの重点の今年度の取組状況と、来年度の方向性についてお伝えします。



### 「岩手で、世界で活躍する人材」の育成に関わって

#### <目標>

「いわての復興教育」及びキャリア教育等の推進により、社会の変化に対応し、岩手の産業や地域を支える人材や、世界で活躍する人材を育成する。

コロナ禍ということもあり、不安な気持ちを抱いたり、地域や社会との接点が狭められたりと指標の数値は伸び悩みましたが、徐々に回復の兆しが出ています。中学校の「将来の夢や目標をもっている生徒の割合」は、昨年度よりも増加しています。

☞復興教育研修会、実践的キャリア教育研修会を通して、地域や社会との繋がりを大切にする人材の育成を支援します。

### 「確かな学力」の育成に関わって

#### <目標>

各学校において「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善が行われ、児童生徒一人一人が基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、思考力・判断力・表現力等及び自立的に学ぶ態度を身に付ける。

教師は、学習指導要領の目標の実現状況を把握し、自分自身の学習や指導の改善に繋げる「指導と評価の一体化」を意識することが重要になります。また、児童生徒の姿を具体的に想起し、一人一人の資質・能力の向上を目指して授業改善に取り組む必要があります。

☞訪問事業や各種研修会等を通して、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善の在り方や、各学校における組織的取組を支援します。

### 「豊かな心」の育成に関わって

#### <目標>

生徒指導や道徳教育等の充実により、児童生徒一人一人の豊かな情操や自己肯定感の育成及び良好な人間関係を構築できる協調性を育成する。

「先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合」が、増加しています。先生方の児童生徒への温かな関わり方がこの結果に結びついていると考えられます。「いじめがいけないと思う児童生徒の割合」も年々増加傾向にあります。

☞生徒指導研修会を通して、「いじめの未然防止・早期発見及び事案対処の在り方」等の組織的対応の充実を支援します。また、SCとSSWの効果的な活用及び関係機関との教育相談体制の整備を進めます。

### 「健やかな体」の育成に関わって

#### <目標>

児童生徒が自らの体力や健康、安全に関心を持ち、体力の向上と心身の健康の保持に努め、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する。

運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合は高く、先生方が体育の授業を工夫して運動の楽しさを味わわせている結果だと思えます。体格については、大きな課題です。よりよい生活習慣の形成により、結果としての肥満予防・体力向上に繋がるようにしていきたいものです。

☞研修会や訪問事業「運動習慣・食習慣・生活習慣」を一体的に捉えた『60（ロクマル）プラスプロジェクト』の推進を支援します。

### 「共に学び、共に育つ教育（特別支援教育）」の推進に関わって

#### <目標>

「共に学び、共に育つ教育」の理念のもと、支援を必要とする児童生徒一人一人に対する教育的ニーズにきめ細かく応える支援体制を整備し、個々のもてる力を伸ばしていく。

中学校では、生徒の特性に応じた指導上の工夫を行っている学校の割合が昨年度よりも増えました。それぞれの学校で取り組まれていることがすぐに成果として現れることではありませんが、今取り組まれている工夫を組織全体で共有・継続していただきたいと思えます。

☞一人ひとりの教育的ニーズに対応した支援の在り方についての研修を実施します。また、各校のニーズに寄り添った相談支援を行います。